

21. 恐慌から戦争へ

① **世界恐慌** ... 1929年、ニューヨークで株価が大暴落→不景気が世界中に広まる

アメリカ→② **ニューディール** (新規まど) 政策→③ **フーバー** 大統領が行う

公共事業による失業者の保護、労働者の権利の保障など、積極的な不況対策

イギリス・フランス→④ **ブレヴィン** 経済→本国と植民地の貿易を拡大し、他国の商品をしめ出す経

済圏をつくる政策 **国民社会主義ドイツ労働者党**

ドイツ→⑤ **ナチ** 党の指導者⑥ **ヒトラー** による独裁政治→ユダヤ人の迫害など

イタリア→ムッソリーニ率いる⑦ **ファシスト** 党の独裁政治

→民主主義や基本的人権を否定し、軍勢力で領土を拡大しようとする独裁政治→⑧ **ファシズム**

ソ連→⑨ **スターリン** による独裁政治→「五か年計画」によって①の影響を受けず

日本→第一次世界大戦後の不況と関東大震災の打撃から深刻な不景気→経営に行きづまり、預金の引き出

しから中小銀行が倒産する(⑩ **金融恐慌**) 1925

都市で労働争議、農村で小作争議が頻発→政府は⑪ **治安維持** 法を改め、取りしまりを強化

戦争への道

1931年 ⑫ **満州事変** ... 関東軍が奉天付近の柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破、攻撃を開始

1932年 ⑬ **満州国** を建国→清の最後の皇帝溥儀を元首とした →リットン調査団(国際連盟)

⑭ **五・一五** 事件→海軍青年将校らが⑮ **大隈** 首相を暗殺→政党政治が終わった

1933年 ⑯ **国際連盟** 脱退→日本は⑬に対する⑯からの勧告を拒否し、脱退を通告

1936年 ⑰ **二・二六** 事件→陸軍青年将校らが約1400人の兵士を率いて大臣などを殺傷、一時東京を占拠→政治に対する軍部の発言力が強まった

⑱ **日独防共** 協定→共産主義に対抗するため、日本とドイツが結んだ

1937年 ⑲ **日中** 戦争→北京郊外の盧溝橋での日本軍と中国軍の武力衝突をきっかけに始まった

→中国では、国民政府と共産党が⑳ **抗日民族統一戦線** を結成
蒋介石 毛沢東

戦争の長期化

1938年 ㉑ **国家総動員** 法→政府は議会の議決を経ずに戦争に必要な人や物資を動員可能に

1940年 ㉒ **大政翼賛** 会→ほとんどの政党や政治団体が解散し、結成された

㉓ **隣組** ... ㉒のもと10戸ごとに、住民どうしの助け合い、相互監視の役割などを果たすため組織

1941年 ㉔ **国民学校** ... 小学校が改称された→軍国主義を支える教育が進められた

このころ、朝鮮や台湾の人々に対し、日本語の使用や創氏改名などの㉕ **皇民化** 政策が行われる

皇